

## 式 辞

頬を撫でる風、空の高さ、心落ち着く花の香、至る所に実りを感じられる今日、ここに香川県立飯山高等学校 看護科 第四十九回戴帽式を挙行できますことは職員一同この上ない喜びでございます。

本日は、ご多用の中、香川県教育委員会より高校教育課長 吉田 智様をはじめ、多数の皆様のご臨席を賜り、生徒の前途を祝福していただけますこと、厚くお礼申し上げます。

また、本日、戴帽の労をとってくださいます、滝宮総合病院 看護部長 福本由美子様、坂出聖マルチン病院 看護部長 檜水礼子様には、心より感謝申し上げます。

さて、本日この日を迎えられました三十四名の生徒の皆さんおめでとうございます。

本校に入学して一年半、皆さんは看護師にとって必要な、基礎的な学問や看護学、人間性を養う勉学に励んできました。さらに、コロナ禍により自分の努力だけでは避けられない辛い現実を目の当たりにし、当たり前の大切さを改めて知る機会を得ました。これらの多くの学びから患者さんへのケアの基本姿勢を今日の誓いにまとめてくれるものと思います。そして、初めての臨地実習を前に、「自分は何のために看護師を志したのか？自分は看護師に向いているのか？」と自分に問いかけては悩み、不安を抱えて、改めて「看護」に向き合う、命と向き合う覚悟を、確かめることこそが今日の「戴帽式」の意義だと考えます。

来年一月から本格化する臨地実習は学んだ知識や誓いを実践する時期になります。学んだ知識や技術に十分ということではなく、不足を学んでください。加えて医療は不確実で簡単に正解が見えないと知ってください。様々な局面で、「自分はどうすればいいのか？」「自分に求められているのは何なのか？」明確な答えが見つからない時、悩んだ時には、今日、ナイチンゲールの灯火（ともしび）に誓った思いを思い起こしてください。代々受け継がれてきた灯火（ともしび）には、「人々の健康のために分け隔てなく、清く、そして誠実に、病に苦しむ人々に手を差し伸べる看護の心」が宿っており、皆さんの進むべき道を照らしてくれるのだと信じてやみません。

実際に病に苦しむ患者さんに接する臨地実習を経て、「患者さんに寄り添い、形に表れていない患者さんの心の傷を癒すことができるような看護師になりたい」と多くの学生が語ってくれます。続けて、「患者さんとのコミュニケーションを大切にし、患者さんは、何を不安に感じ、何を望まれておられるのかを感じ取ろうと努めようと思います。」と考えを説明してくれます。「看護」という尊い使命を自覚した強い思いが込められた言葉だと心が揺さぶられます。しかし、それは簡単なことではないはずです。日常生活での相手への配慮を含め、普段の皆さんの言動の一つ一つが繋がって初めて、可能になるのではないでしょう。か。挨拶や礼儀、授業に臨む気持ち、課題への取り組み方、友だちとの人間関係。時には、目の前の現実から目を背けたくなったり、周囲の人について、厳しいことを言ってしまう。そのような時はきつと、自分のことで精一杯で、周りが見えていない。いや。それは、自分のことすら分かっていない。自分の正直な気持ちに気付いていない、向き合えていないのではないかと私は考えます。周囲の流れに心を囚われることなく、どうか、自分自身の日々のささやかで地道な取り組みを大切にしてください。かのナイチンゲールも『価値ある事業は、ささやかな、人知れぬ出発、地道な労苦、向上を目指す無言の、地道

な苦闘といった風土のうちで、真に発展し、開花する。』と述べています。みなさんが志を同じくする仲間たちと共に悩み、助け合い、励まし合って成長しながら患者さんの心に寄り添うことができる看護師への道を歩んでくれることを願っています。

高齢化社会を迎え、日本の医療や介護は大きな転換期にあります。在宅看護をはじめ、地域医療の重要性が認識され、感染症対策に見られるように、医療のシステムは社会情勢によって大きく変わって行きます。何が必要とされているのか、何をしなければならぬのか、不確かで予測困難、かつ複雑な問題を前に、ひるむことなく、地道に一步步歩んでください。本校での学びがそれを可能にすることを信じています。学びの過程で、人への気遣いは大切ですが自分へのいたわりも忘れないでください。時には自分の時間を持ち、完璧でない自分をいとおしむ時間も大切です。今日は、今ある自分を振り返り、これまで有形無形にご支援をいただいた保護者の方をはじめ、関わっていただいたすべての方に感謝の念を持つ機会にしてください。謙虚に感謝する姿勢は必ず患者さんに通じる力を育むと私は考えます。

最後になりましたが、保護者の皆様方には、お子様が今日、晴れて戴帽式を迎えられましたことに、心より喜び申し上げます。真新しいユニフォームをまとった姿の前に、感慨もひとしおのことと存じます。私たち教職員は、お子様が今日の誓いを胸に、さらに成長していけるよう、共に支えてまいりますので、今後ともご理解・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。本日戴帽される三十四名の生徒全員が、信頼され、尊敬され、愛される看護師に成長できることを願いつつ、ご臨席を賜りました関係者の皆様には、引き続きのご指導をお願い申し上げます。式辞といたします。

令和五年十月五日

香川県立飯山高等学校長 大平 徹

